

エックリン汗腺癌。第1回日本皮膚病理組織研究会, 1985, 7, 東京。

18) 小西可南, 高橋省三, 諸橋正昭: Blue rubber-bleb nevus syndrome の1例。第36回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1985, 10, 大津。

19) 檜垣修一, 春木智江, 小西可南, 高橋省三, 池田和夫, 諸橋正昭, 土佐寛順, 寺沢捷年: 当科における和漢外来の現況—第4報—。第84回日本皮膚科学会学術大会, 1985, 4, 岡山。

20) 檜垣修一, 小西可南, 諸橋正昭: 当科における和漢外来の現況 第5報。第2回和漢医薬学会, 1985, 9, 京都。

21) 松井千尋, 高橋省三, 諸橋正昭: オスラー病。第36回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1985, 10, 大津。

22) 宮入宏之: 激痒を伴う環状紅斑の1例。第313回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 2, 金沢。

23) 小西可南: ヘアダイのパッチテスト成績および黒皮症患者の推移。第10回パッチテスト研究班総会および記念学術大会, 1985, 12, 神戸。

24) 檜垣修一, 小西可南: 有棘細胞癌の1例。第314回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 6, 金沢。

25) 置塩良政, 岡田忠彦, 北山吉明, 小島正嗣, 北村譜次, 斉藤明宏, 塚田貞夫: 熱傷患者の栄養評価。第6回北陸地区熱傷研究会, 1985, 2, 福井。

26) 斉藤明宏, 斉藤 格, 岡田忠彦, 塚田貞夫: いわゆる Triton tumor を合併したレックリングハウゼン氏病。第25回日本形成外科学会北陸地方会, 1985, 3, 金沢。

27) 斉藤明宏, 松井千尋, 池田和夫: 漢方薬が原因と考えられた扁平苔癬様薬疹の2例。第314回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 6, 金沢。

28) 斉藤明宏: Nodular fascitis の2例。第315回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 9, 金沢。

29) 斉藤明宏, 松井千尋: Keratoachanthoma。第21回北信越合同皮膚科学会, 1985, 12, 金沢。

30) 松井千尋, 高橋省三: 色素性蕁麻疹の1例。第314回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 6, 金沢。

31) 松井千尋: Pseudoxanthoma elasticum の1例。第315回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 9, 金沢。

32) 松井千尋, 高橋省三: Factitial paniculitis? 第317回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢。

33) 関 太輔: 髄膜炎を伴った帯状疱疹の1例。第315回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 9, 金沢。

34) 関 太輔, 布施信三: ペラグラの1例。第316回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 9, 金沢。

35) 関 太輔, 斉藤明宏, 須藤成章, 高橋省三: Granular cell tumor の1例。第317回日本皮膚科学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢。

小 児 科 学

教 授	岡 田 敏 夫
助 教 授	鈴 木 好 文
講 師	樋 口 晃
講 師	谷 澤 隆 邦
助 手	小 西 徹 徹
助 手	五十嵐 隆 夫
助 手	嶋 尾 智 智
助 手	谷 守 正
助 手	馬 瀬 大 助
助 手	村 上 巧 啓
文部教官	永 田 仁 志

◆ 著 書

1) 岡田敏夫: 小児の遷延性(慢性)腎炎。「今日の治療指針」697, 医学書院, 1985。

2) 岡田敏夫: 多尿。「今日の小児治療指針」126, 医学書院, 1985。

3) 岡田敏夫: 小児発達系の検査。「最新看護セミナー8 臨床検査ハンドブック第2版」277—302, メジカルフレンド社, 1985。

4) 岡田敏夫: 泌尿生殖器疾患。「国試からみた小児科学 第5版」507—529, 中外医学社, 1985。

5) 岡田敏夫: 生検, X線診断, RI診断。「新小児医学大系12A —小児泌尿器病学I—」336—365, 中山書店, 1985。

6) 岡田敏夫: 小児腎・泌尿器疾患の薬物療法。「新小児医学大系12A —小児泌尿器病学I—」395—410, 中山書店, 1985。

7) 岡田敏夫: 泌尿器疾患。「必修小児科学改訂第2版」591—612, 南江堂, 1985。

8) 岡田敏夫: 蛋白尿, 血尿。「小児症候の診断プロセス」282—287, 中外医学社, 1985。

9) 鈴木好文, 小林 収: 小児泌尿器病学の歴史と展望。「新小児科学大系12A —小児泌尿器病学I—」3—18, 中山書店, 1985。

10) 鈴木好文: 急性糸球体腎炎。「小児疾患のベッドサイド研修」中外医学社, 208—212, 1985。

11) 鈴子好文: 急性腎不全。「今日の小児治療指針」545—546, 医学書院, 1985。

12) 樋口 晃：慢性糸球体腎炎。「今日の小児治療指針」医学書院（第6版），532—533，1985。

13) 鈴木好文：ネフローゼ症候群。「小児疾患のベッドサイド研修」中外医学社，213—217，1985。

14) 鈴木好文：出血性膀胱炎「小児疾患のベッドサイド研修」中外医学社，224—227，1985。

◆ 原 著

1) 岡田敏夫，山谷美和，和田博義，内野宏己：ネフローゼ症候群に対する柴苓湯の臨床効果。漢方医学 9：97—100，1985。

2) 鈴木好文，岡田敏夫：尿蛋白の分析よりみた体位性蛋白尿。小児科臨床 38：964—967，1985。

3) 鈴木好文：小児尿路感染症の特殊性。小児看護 8：1029—1034，1985。

4) Suzuki Y., Okada T., Higuchi A., Mase D., and Kobayashi O.: Asymptomatic low molecular weight proteinuria: a report on 5 cases. Clin. Nephrol. 23:249—254, 1985.

5) 鈴木好文：尿路感染症。Pharma Medica 3:71—75, 1985。

6) 村上巧啓，五十嵐隆夫，足立雄一，松野正知，佐伯陽子，鈴木好文，岡田敏夫，大橋直樹：小児期副鼻腔炎の臨床的検討。小児科診療 48：1609—1614，1985。

7) 鈴木好文：解熱剤の使い方。小児科学年鑑'85~'86。小児科の進歩5，146—147，診断と治療社，1985。

8) 鈴木好文，岡田敏夫：尿管性蛋白尿。小児科学年鑑'85~'86。小児科の進歩5，171—175，診断と治療社，1985。

9) Suzuki Y., Okada T., Hara M., Miura I.K., Naiki S., and Sakuragawa N.: Rapid differentiation between glomerular and tubular proteinurias by high-performance liquid chromatography. Clin. Nephrol. 24:138—141, 1985.

10) Hara M., Higuchi A., Tanizawa T., Suzuki Y., and Okada T.: Clinical usefulness of cellulose acetate electrophoresis as a screening of proteinuria in children. Int. J. Pediatr. Nephrol. 6:111—116, 1985.

11) Ichida F., Konishi T., Asada R., Yamatani M., Konda M., Tani M., Tanizawa T., Suzuki Y., and Okada T.: Chlorambucil central nervous toxicity: A significant side effect of chlorambucil therapy in childhood nephrotic syndrome. Eur. J. Pediatr. 144:283—286, 1985.

12) Suzuki Y., Imai I., Shima S., Miura I.K.,

and Okada T.: Excretion of urinary amino acid in children with postural proteinuria. Int. J. Pediatr. Nephrol. 6:195—198, 1985.

13) 鈴木好文：小児科と内科にまたがる疾患—ネフローゼ—。小児科臨床 38：2907—2912，1985。

14) 市田藤子，山谷美和，鈴木好文，岡田敏夫：Wilson 肝の腹腔鏡所見—腹腔鏡下肝生検にて D-penicillamine の劇的な効果を確し得た1例を中心に—。小児科診療 48：2378—2383，1985。

15) 谷澤隆邦，岡田敏夫：小児期 IgA 腎症70例の臨床。～病理組織学的研究～。厚生省心身障害研究班昭和59年度研究業績集，69—71，1985。

16) 谷澤隆邦，岡田敏夫：腎疾患と酸塩基平衡異常。小児内科 17：1217—1221，1985。

17) 小西 徹，山谷美和，紺田応子，岡田敏夫：後頭部に焦点性発作波を有するてんかん小児の臨床的検討。小児科診療 48：1450—1454，1985。

18) Konishi T., Yamatani M., Konda M., and Okada T.: Clinical Findings in the Epileptic children with Occipital Electroencephalographic Foci. Folia Psychiatria et Neurologica Japonica 39:359—360, 1985.

19) 宮崎あゆみ，谷 守正，五十嵐隆夫，岡田敏夫，藤倉信一郎，田中三千雄，麓 耕平：若年性ポリープの1例。小児科臨床 38：2639—2642，1985。

20) 五十嵐隆夫：小児科診療における最近の諸問題，とやま県医報 908：22—24，1985。

21) 五十嵐隆夫，佐伯陽子，岡田敏夫，熊谷 朗，佐々 学：ユスリカ喘息の2症例。治療学 14：122—126，1985。

22) 五十嵐隆夫，村上巧啓，足立雄一，松野正知，佐伯陽子：経皮的酸素分圧値を指標としたヒスタミン吸入閾値測定の試み。第2編 年少児気管支喘息におけるヒスタミン吸入閾値の臨床的検討。アレルギー 34：1055—1062，1985。

23) 谷 守正，村上巧啓，嶋尾 智，岡田敏夫：家族性QT延長症候群(Romano-Ward 症候群)の1兄妹例。小児科診療 48：36—40，1985。

24) 稲場 進，馬瀬大助，谷 守正，原 正則，樋口 晃，谷澤隆邦，岡田敏夫，坂本 隆：十二指腸球後部潰瘍を初発症状としたHenoch-Schönlein Purpura Nephritisの1例。小児科診療，48：2234—2237，1985。

25) 稲場 進，馬瀬大助，村上巧啓，樋口 晃，谷澤隆邦，岡田敏夫：小児における密封輸液剤，ブドウ糖・電解質液(DM3A)の使用経験。新薬と

臨床, 34:179—182, 1985.

26) 稲場 進, 馬瀬大助, 原 正則, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田 敏夫: 小児腎疾患における Venoglobulin I 点滴静注療法の使用経験. Medical Postgraduates 23:41—45, 1985.

27) 稲場 進, 市田路子, 山谷美和, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: 透析の心行動態に及ぼす影響 —小児期慢性腎不全患者における左心機能の評価—. 小児腎不全研究会誌 5:98—104, 1985.

28) 稲場 進, 市田路子, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: 透析の心行動態に及ぼす影響 —小児期発症慢性腎不全患児における左心機能の評価—. 腎と透析 18:783—788, 1985.

29) 稲場 進, 馬瀬大助, 原 正則, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: 小児期各種腎疾患における γ -globulin 療法の検討. 小児科臨床, 38:2349—2354, 1985.

30) 樋口 晃, 岡田敏夫: 原発性尿細管性アシドーシス. 日本臨床 43:170—175, 1985.

◆ 総 説

1) 岡田敏夫: 学校検尿および異常所見児童の取り扱い. 腎と透析 Suppl. 19:744—745, 1985.

2) 岡田敏夫, 谷澤隆邦: レノグラム, レノシンチ. 小児内科 Suppl. 17:642—648, 1985.

3) 岡田敏夫, 鈴木好文, 松倉裕喜: 体位性蛋白尿の臨床, 日本医事新報 3202:14, 1985.

◆ 学会報告

1) 樋口 晃, 馬瀬大助, 浅田礼子, 稲場 進, 原 正則, 谷澤隆邦, 鈴木好文, 岡田敏夫: 糸球体基底膜荷電状態の電顕的観察 —IC 型腎炎と Non-IC 腎炎の比較検討を中心として—. 日本小児科学会 (第88回), 1985, 6, 札幌.

2) 小西 徹, 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 鈴木好文, 岡田敏夫: Schönlein-Henoch 紫斑病における脳波学的検討. 日本小児科学会 (第88回), 1985, 6, 札幌.

3) 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 松野正知, 足立雄一, 村上巧啓, 鈴木好文, 岡田敏夫, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究. 日本小児科学会 (第88回), 1985, 6, 札幌.

4) 小西 徹, 山谷美和, 紺田応子, 鈴木好文, 岡田敏夫: 小児期脳波の過呼吸賦活における定量化の試み —過呼吸負荷量について—. 日本小児神経学会 (27回), 1985, 7, 東京.

5) 稲場 進, 原 正則, 馬瀬大助, 浅田礼子, 谷 守正, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫, 大島章, 岩田和士: ヒト腎基底膜抗原に関する研究—第

IV 報— ~正常及び各種腎疾患の IV 型 Collagen の局在—. 日本腎臓学会 (28回), 1985, 10, 東京.

6) 原 正則, 稲場 進, 馬瀬大助, 浅田礼子, 谷 守正, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: ヒト腎基底膜抗原に関する研究—第 VI 報— ~正常人尿中排泄抗原の検討—. 日本腎臓学会 (28回), 1985, 10, 東京.

7) 稲場 進, 原 正則, 馬瀬大助, 浅田礼子, 谷 守正, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫, 大島章, 岩田和士: ヒト腎基底膜抗原に関する研究—第 V 報— ~正常及び各種腎疾患の V 型 Collagen の局在—. 日本腎臓学会 (28回), 1985, 10, 東京.

8) 鈴木好文, 岡田敏夫: 高速液体クロマトグラフィーによる尿蛋白の分析 ~腎疾患における検討—. 日本腎臓学会 (28回), 1985, 10, 東京.

9) 馬瀬大助, 浅田礼子, 稲場 進, 谷 守正, 原 正則, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫, 小松達至, 渡辺慶一: 小児期 IgA 腎症の電顕酵素抗体法所見 ~EDD と IgA 及び J 鎖の糸球体内局在—. 日本腎臓学会 (28回), 1985, 10, 東京.

10) 馬瀬大助, 浅田礼子, 稲場 進, 谷 守正, 原 正則, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫, 小松達至, 渡辺慶一: 小児期 IgA 腎症の電顕酵素抗体法所見 ~IgA と J 鎖の糸球体内局在について—. 日本小児腎臓病学会 (第21回), 1985, 7, 東京.

11) 浅田礼子, 馬瀬大助, 稲場 進, 谷 守正, 原 正則, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: 糸球体基底膜抗原が巣状分節状に分布する Alport 症候群の 1 例. 日本小児腎臓病学会 (第21回), 1985, 7, 東京.

12) 今井郁子, 鈴木好文, 今村博明, 嶋尾 智, 岡田敏夫, 内記三郎, 桜川信男: 小児期の血中および尿中クレアチニンの測定法の検討. 日本小児腎臓病学会 (第21回), 1985, 7, 東京.

13) 嶋尾 智, 鈴木好文, 今井郁子, 今村博明, 岡田敏夫: 新生児期の尿中 β_2 ミクログロブリン及び尿中 α_1 ミクログロブリンについて. 日本小児腎臓病学会 (第21回), 1985, 7, 東京.

14) 窪田博道, 谷澤隆邦, 松倉裕喜, 鈴木好文, 岡田敏夫: CDDP 腎障害に関する実験的検討~尿中酵素を中心に—. 日本小児腎臓病学会 (第21回), 1985, 7, 東京.

15) 稲場 進, 原 正則, 馬瀬大助, 浅田礼子, 谷 守正, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: ヒト腎基底膜抗原に関する研究 ~第 2 報—. Type 4 collagen の正常及び各種腎疾患における組織分布. 日本小児腎臓病学会 (第21回), 1985, 7, 東京.

16) 原 正則, 稲場 進, 馬瀬大助, 浅田礼子, 谷 守正, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: ヒト腎基底膜抗原に関する研究 ~第3報~ non-collagenous glycoprotein 抗原の正常及び各種腎疾患における組織分布. 日本小児腎臓病学会(第21回), 1985, 7, 東京.

17) 谷澤隆邦, 浅田礼子, 稲場 進, 馬瀬大助, 谷 守正, 原 正則, 樋口 晃, 岡田敏夫: Formol sucrose/gum sucrose/paraffin 固定包埋法による腎生検組織蛍光抗体法. 日本小児腎臓病学会(第21回), 1985, 7, 東京.

18) 奥田忠行, 林 みね子, 柴 則子, 桜川信夫, 山谷美和, 紺田応子, 小西 徹: 小児期脳波の過呼吸負荷における定量化の試み. 臨床病理学会(第32回) 1985, 9, 松本.

19) 小西 徹, 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 岡田敏夫, 奥田忠行: 小児けいれん性疾患における Ambulatory EEG monitoring System の臨床応用 ~特に発作時記録を中心に~. 日本てんかん学会, (第19回), 1985, 10, 大津.

20) 小西 徹, 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子: 小児期脳波の過呼吸賦活における定量化の試み. 日本脳波筋電図学会(第15回), 1985, 10, 福島.

21) 足立雄一, 村上巧啓, 佐伯陽子, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 松野正知, 吉住 昭, 上田智子, 伊藤 茂, 京谷征三: アスピリン喘息のスクリーニングにおけるスルピリン吸入負荷試験の有用性. 小児アレルギー研究会(第22回), 1985, 10, 金沢.

22) 松野正知, 吉住 昭, 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫: 小児アレルギー疾患における食餌性抗原 RAST の検討. 小児アレルギー研究会(第22回), 1985, 10, 金沢.

23) 佐伯陽子, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 鈴木好文, 岡田敏夫, 伊藤 茂, 上田智子, 京谷征三: ユスリカ喘息に関する研究 ~第II報 臨床的検討~. 小児アレルギー研究会(第22回), 1985, 10, 金沢.

24) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 原 正則, 鈴木好文, 岡田敏夫, 寺西秀豊: ユスリカ喘息に関する研究 ~第III報 ユスリカの種別間及び D.f との交叉抗原性~. 小児アレルギー研究会(第22回), 1985, 10, 金沢.

25) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 岡田敏夫: 乳幼児気管支喘息における気道過敏性測定の試み ~睡眠時吸入負荷方法の検討~. 小児アレルギー研究会(第22回), 1985, 10, 金沢.

26) 今井郁子, 鈴木好文, 今村博明, 嶋尾 智:

新生児における血清および尿中クレアチニンの測定法の検討. 日本新生児学会総会(第21回), 1985, 7, 神戸.

27) 嶋尾 智, 鈴木好文, 今井郁子, 今村博明, 岡田敏夫: 新生児期における尿酸排泄について. 未熟児新生児研究会(第30回), 1985, 11, 東京.

28) 今井郁子, 鈴木好文, 嶋尾 智, 今村博明, 岡田敏夫: 低出生体重児の経時的血中及び尿中アミノ酸の検討. 未熟児新生児研究会(第30回), 1985, 11, 東京.

29) 京谷征三, 松島昭広, 山谷美和, 木村晶子, 入道秀樹: Lennox-Gastaut 症候群への TRH 療法の試み. 日本てんかん学会(第19回), 1985, 10, 大津.

30) 鈴木好文, 紺田応子, 今井郁子, 嶋尾 智, 岡田敏夫: 高チロジン血症の1例, 特に尿細管機能について. 日本腎臓学会西部部会(15回), 1985, 5, 神戸.

31) 稲場 進, 馬瀬大助, 谷 守正, 原 正則, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: MPGN (type I) の11例に対するカクテル治療の効果. 日本腎臓学会西部部会(15回), 1985, 5, 神戸.

32) 松倉裕喜, 岡田敏夫: 「内科医, 小児科医, 泌尿器科医からみた血尿」微量血尿の病態. 日本腎臓学会西部部会(15回), 1985, 5, 神戸.

33) 松倉裕喜, 谷澤隆邦, 馬瀬大助, 原 正則, 樋口 晃, 岡田敏夫, 三浦忠道, 大浦彦吉, 横沢隆子: 保存的治療に和漢薬併用が有用であったと思われる1小児腎不全例. 小児腎不全研究会(7回), 1985, 8, 浜松.

34) 足立雄一, 村上巧啓, 佐伯陽子, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 松野正知, 吉住 昭, 上田智子, 伊藤 茂, 京谷征三: アスピリン喘息のスクリーニングにおけるスルピリン吸入負荷試験の有用性. アスピリン喘息研究会(14回), 1985, 11, 名古屋.

35) 足立雄一, 村上巧啓, 松野正知, 佐伯陽子, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫: スルピリン吸入が気道過敏性におよぼす影響について. 気道過敏性研究会(第13回), 1985, 3, 東京.

36) 五十嵐隆夫: ユスリカ喘息について. ユスリカ研究会(第2回), 1985, 4, 岡山.

37) 五十嵐隆夫: 富山県のユスリカ喘息. ユスリカ研究会(第3回), 1985, 6, 富山.

38) 五十嵐隆夫: 昆虫アレルギー「ユスリカ」. 免疫アレルギー懇話会(第5回), 1985, 7, 東京.

39) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 岡田敏夫: 乳幼児気管支喘息における気道過敏性測定の試み ~睡眠時吸入負荷を用いたヒ

スタミン閾値の検討～、気道過敏性研究会(第14回), 1985, 9, 東京.

40) 五十嵐隆夫:小児喘息診療における最近の諸問題, 昭和60年度日医医学講座, 1985, 7, 富山.

41) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 鈴木好文, 岡田敏夫, 熊谷 朗, 佐々木 学:ユスリカ喘息に関する研究, 日本アレルギー学会(第35回), 1985, 9, 前橋.

42) 五十嵐隆夫:小児気管支喘息におけるユスリカアレルギーの役割, ユスリカ研究会(第4回), 1985, 11, 筑波.

43) 嶋尾 智, 鈴木好文, 今井郁子, 今村博明, 岡田正俊:新生児期における尿中蛋白, 特に α_1 ミクログロブリンの動態について, 日本新生児学会(第21回), 1985, 7, 神戸.

44) 内記三郎, 野手良剛, 松田正毅, 鈴木好文, 桜川信男:高感度分析法による尿中アイソザイム(LDH, NAG)の分離, 臨床病理学会(第32回), 1985, 9, 松本.

45) 内記三郎, 林 みね子, 松田正毅, 鈴木好文, 桜川信男:高速液体クロマトグラフィーを用いた蛋白分画の測定, 日本臨床検査自動化学会(第17回), 1985, 9,

46) 今井郁子, 嶋尾 智, 鈴木好文, 岡田敏夫:新生児糖尿病の1例, 中部日本小児科学会(第21回), 1985, 8, 富山.

47) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 岡田敏夫:当科アレルギー外来における最近5年間のアレルギーテストの集計結果について, 中部日本小児科学会(第21回), 1985, 8, 富山.

48) 原 正則, 浅田礼子, 馬瀬大助, 稲場 進, 谷 守正, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫:小児期紫斑病性腎炎におけるカクテル療法の経験, 中部日本小児科学会(第21回), 1985, 8, 富山.

49) 稲場 進, 原 正則, 馬瀬大助, 浅田礼子, 谷 守正, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫, 大島章, 岩田和士:抗4及び5型コラーゲン単クローン抗体を用いたヒト腎組織化学的検討, 中部日本小児科学会(第21回), 1985, 8, 富山.

50) 村上美也子, 山谷美和, 浅田礼子, 小西 徹, 岡田敏夫, 木村晶子:基底核に石灰化を認めた3症例, 中部日本小児科学会(第21回), 1985, 8, 富山.

51) 堀江幸男, 岡 伸男, 今井郁子, 嶋尾 智, 新居 隆, 三輪淳夫, 山岸雅司:剖検にて Holoprosencephaly と診断された胎内超音波検査の1経験例, 日本脳神経学会中部地方会(第15回), 1985, 6, 福井.

52) 足立雄一, 佐伯陽子, 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 松野正知, 吉住 昭:塩酸クロミプラミンを用いての重症気管支喘息児の治療の試み, 小児難治性喘息研究会(第2回), 1985, 5, 盛岡.

53) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 丸山明夫, 岡田敏夫, 寺西秀豊:ユスリカ喘息に関する研究, ～ユスリカ種別間の交叉抗原性について～, 北陸アレルギー懇話会(第12回), 1985, 12, 金沢.

54) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 丸山明夫, 岡田敏夫, 荒川 良:室内塵性ダニ類に関する研究 ～室内に生息するダニ類の密度と種類について～, 北陸アレルギー懇話会(第12回), 1985, 12, 金沢.

55) 五十嵐隆夫:室内塵性ダニ類と気管支喘息, 新潟アレルギー研究会(第8回), 1985, 11, 新潟.

56) 五十嵐隆夫:「呼吸器感染症の現状」小児気管支喘息の臨床, 富山医科薬科大学医学会学術集会(第8回), 1985, 12, 富山.

57) 五十嵐隆夫:小児喘息について, 富山県小児保健研究会(第4回), 1985, 4, 富山.

58) 小西 徹, 山谷美和, 紺田応子, 岡田敏夫:非痙攣性疾患児に認められた突発波について, 北陸てんかん懇話会, 1985, 3, 金沢.

59) 山谷美和, 紺田応子, 小西 徹, 岡田敏夫:熱性痙攣・てんかん児にみられる免疫異常 ～特に低IgA血症について～, 北陸てんかん懇話会(第9回), 1985, 3, 金沢.

60) 奥田忠行, 林 史郎, 柴 則子, 松田正毅, 桜川信男, 山谷美和, 小西 徹, 堀 有行, 数川 悟, 中村一郎:長時間携帯用脳波記録装置の有用性について, 北陸医学会総会(第39回)(第10回北陸臨床病理集談会), 1985, 9, 福井.

61) 足立雄一, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 渋谷 隆, 田中三千雄:内視鏡にて胃粘膜下出血を認めた膵管胆道合流異常の一例, 日本小児科学会北陸地方会(第210回), 1985, 3, 富山.

62) 紺田応子, 小西 徹, 岡田敏夫, 奥田忠行:難治性てんかんにおける長時間脳波記録装置(ホルター EEG)の使用経験, 日本小児科学会北陸地方会(第210回), 1985, 3, 富山.

63) 本間一正, 宮崎あゆみ, 江本清和, 馬瀬大助, 山谷美和:最近経験した, 思春期小児の不定愁訴についての考察, 日本小児科学会北陸地方会(第210回), 1985, 3, 富山.

64) 浅田礼子, 三浦一枝, 馬瀬大助, 稲場 進, 谷 守正, 原 正則, 谷澤隆邦, 樋口 晃, 岡田敏

夫：集団検尿で発見されたアルポート症候群の2女児例。日本小児科学会北陸地方会(第210回), 1985, 3, 富山。

65) 嶋尾 智, 今井郁子, 鈴木好文, 岡田敏夫, 北川正信, 伊藤 博, 八木義仁：腎不全母体より出生し筋層低形成による多発性小腸穿孔をきたした超未熟児の1例。日本小児科学会北陸地方会(第211回), 1985, 6, 金沢。

66) 松倉裕喜, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫：透過型ノマルスキー微分干涉顕微鏡による赤血球形態の観察経験。日本小児科学会北陸地方会(第211回), 1985, 6, 金沢。

67) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 鈴木好文, 岡田敏夫：ユスリカ喘息に関する研究。日本小児科学会北陸地方会(第211回), 1985, 6, 金沢。

68) 松倉裕喜, 三枝伸子, 佐伯陽子, 宮崎あゆみ, 市田路子, 岡田敏夫, 西谷 泰, 藤村光夫, 若木邦彦, 肥田高嶺, 小泉富美朝：心内膜線維彈性症の同胞例を含めた3例について。日本小児科学会北陸地方会(第212回), 1985, 9, 福井。

69) 本郷和久, 小西 徹, 鈴木好文, 岡田敏夫, 山下芳郎：Lateral Cervical Cyst(第1鰓弓)の1例。日本小児科学会北陸地方会(213回), 1985, 12, 金沢。

70) 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 小西 徹, 岡田敏夫, 瀬戸 光：2卵性双生児に発症した複雑部分発作。日本小児科学会北陸地方会(213回), 1985, 12, 金沢。

71) 紺田応子, 小西 徹, 鈴木好文, 岡田敏夫, 渡辺礼二：先天性筋線維タイプ不均等症の1例。北陸小児神経懇話会(第7回), 1985, 2, 金沢。

72) 京谷征三, 木村晶子, 伊藤 茂, 山谷美和, 松島昭広：初期脳波上発作波を認めない小児難治性てんかんの発症例について。北陸小児神経懇話会(第7回), 1985, 2, 金沢。

73) 紺田応子, 村上美也子, 山谷美和, 小西 徹, 岡田敏夫：いわゆる BEOSW と Frontal Pole の焦点発作波について。北陸小児神経懇話会(第8回), 1985, 9, 金沢。

74) 稲場 進, 浅田礼子, 馬瀬大助, 谷 守正, 原 正則, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫：腎糸球体基底膜抗原が巣状分節状に分布する Alport 症候群の1例。北陸腎疾患懇話会(15回), 1985, 5, 金沢。

75) 佐伯陽子, 本間一正, 江本清和, 稲場 進, 馬瀬大助, 原 正則, 浅田礼子, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫：尿所見寛解後腎生検を施行した小児

期膜性腎症の2例。北陸腎疾患懇話会(16回), 1985, 10, 金沢。

76) 窪田博道, 谷澤隆邦, 宮崎あゆみ, 松倉裕喜, 五十嵐隆夫, 鈴木好文, 岡田敏夫：NHL 8201 プロトコル(CCLSG)にて治療した小児悪性リンパ腫の3例。新潟造血管腫瘍研究会(第13回), 1985, 新潟。

77) 今井郁子, 嶋尾 智, 鈴木好文：絞扼輪症候群の1例。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

78) 高井里香, 山谷真己, 岡田敏夫：小児期腎尿路奇形の経験。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

79) 松倉裕喜, 岡田敏夫：当科における微小血尿の取り扱い。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

80) 江本清和, 本間一正, 佐伯陽子, 麻柄達夫：生後20日で肺膿瘍をきたした1例。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

81) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 佐伯陽子：ユスリカ喘息の2症例。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

82) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 足立雄一：当科アレルギー外来におけるアレルギーテストの5年間の集計。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

83) 佐伯陽子, 本間一正, 江本清和, 宮崎あゆみ, 村上美也子, 小西 徹：Reye 症候群を疑った乳幼児急性脳症の3例。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

84) 小西 徹, 紺田応子, 山谷美和, 本間一正：排尿時失神てんかんの2症例。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

85) 木村晶子, 村上美也子, 松島昭広, 京谷征三：小児の良性部分てんかんの2例。一小児期の焦点性脳波異常の意義について。富山県小児科集談会(第9回), 1985, 6, 富山。

86) 稲場 進, 村上美也子, 木村晶子, 上田智子, 京谷征三, 谷澤隆邦, 岡田敏夫：思春期発症ネフローゼ症候群について。富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山。

87) 本郷和久, 小西 徹：ネフローゼ症候群に合併した橋本病の1例。富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山。

88) 木村晶子, 京谷征三, 上田智子, 村上美也子, 稲場 進：電撃性紫斑病の1例。富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山。

89) 丸山明夫, 五十嵐隆夫, 大橋直樹：口腔底蜂窩織炎(ルードウィッヒ アンギーナ)の1例。富

山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山.

90) 江本清和, 本間一正, 佐伯陽子, 石田俊朗: 生後10日で発症した眼窩膿瘍の1例. 富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山.

91) 足立雄一, 能沢明宏, 中野 護: 急性胃粘膜病変(AGML)の1例. 富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山.

92) 佐伯陽子, 江本清和, 本間一正, 鳥取孝成, 山崎一郎: 新生児肝被膜下血腫の1例. 富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山.

93) 宮崎あゆみ, 本郷和久, 小西 徹: 明らかな溶連菌感染を認め川崎病の経過をとった8歳男児例. 富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山.

94) 窪田博道, 宮崎あゆみ, 松倉裕喜, 五十嵐隆夫: NHL 8201 プロトコールで治療した小児悪性リンパ腫の3例. 富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山.

95) 八木裕子, 谷 守正, 小西 徹: 複数の抗痙攣剤に薬剤過敏症を示した1例. 富山県小児科集談会(10回), 1985, 11, 富山.

96) 松倉裕喜, 岡田敏夫: ノマルスキー微分干涉顕微鏡による赤血球形態の観察. 富山県腎疾患人工透析研究会(11回), 1985, 12, 富山.

97) Murakami G., Saeki Y., Matsuno M., Adachi Y., Igarashi T., and Okada T.: Bronchial Hyperreactivity in Preschool Children with Bronchial Asthma Measured by a New Method. XII International Congress of Allergology & Clinical Immunology 1985, 10, Washington.

98) Igarashi T., Saeki Y., Matsuno M., Adachi Y., Murakami G., Suzuki Y., Okada T., Kumagai A., and Sasa M.: Widespread Occurrence in Japan of the Bronchial Asthma Induced by Chironomid Midges. XII International Congress of Allergology & Clinical Immunology, 1985, 10, Washington.

精神神経医学

教授	遠藤正臣
助教授	中村一郎
講師	清水昭規
講師	細川邦仁
助手	数川悟
助手	藤井勉
助手	烏帽子田彰
助手	大井健一
助手	森川恵雄
助手	三辺義雄
助手	野田真紀子
助手	葛野洋一
助手	堤 学

◆ 原 著

1) 遠藤正臣, 藤井 勉: 頭頂葉の精神症状. *Clinical Neuroscience* 3(1): 42—47, 1985.

2) Shimizu A. and Endo M.: Handedness conversion in children and parental handedness. *Folia Psychiat. Neurol. Jpn.* 39(1): 19—24, 1985.

3) Shimizu A., and Endo M., Yamaguchi N., Torii H. and Isaki K.: Hand preference in schizophrenics and handedness conversion in their childhood. *Acta Psychiatr. Scand.* 72(3): 259—265, 1985.

4) 遠藤正臣: 後頭葉症状群. *臨床精神医学* 14(4): 493—497, 1985.

5) 数川 悟, 細川邦仁, 遠藤正臣: Maprotilineによりせん妄状態を呈した depressive pseudodementia の1例. *精神医学* 27(4): 483—486, 1985.

6) Hori A., Kazukawa S., Nakamura I. and Endo M.: Electroencephalographic findings in neuroacanthocytosis. *Electroenceph. clin. Neurophysiol.* 61(5): 342—348, 1985.

7) 烏帽子田 彰: アルコール中毒患者群の臨床生理学的検討—病的酩酊, 複雑酩酊, 普通酩酊の比較研究—. *アルコール研究と薬物依存* 20(3): 191—218, 1985.

◆ そ の 他

1) 遠藤正臣: 大脳半球機能差と言語習得. *精神区学* 27(5), 496—497, 1985.

2) 野田真紀子: モーズレイ病院(ロンドン)の児童精神部門について. *いしかわ精神衛生* 第26号 48—55, 1985.